



道路インフラの 老朽化対策に向けた取組



—今年で節目の5年目—
青森県道路メンテナンス会議

「青森県道路メンテナンス会議」は、急増する道路インフラの老朽化に対し、青森県内の道路管理者が一体となって長寿命化に取り組むことを目的に、平成26年度に設立され、今年で5年目を迎えます。

この度、今年度最初の会議が8月1日(水)、青森市役所柳川庁舎で開催され、青森県内の道路管理担当者など92名が出席しました。



今回の会議では、メンテナンスサイクルに対する課題について情報提供され、規約改正、これまでの経緯、平成29年度の点検結果、平成30年度の点検計画・活動計画について、説明が行われました。

今年度の活動計画として、新たな取り組みとして、自治体からの要請に対応するアドバイザーチーム「県内道路メンテナンス支援団」の設置、道路メンテナンスに関する取り組みの「見える化」として情報発信する「青森県版道路メンテナンス年報」の公表等について、方針が示されました。また、取り組み事例として、橋の長寿化計画に基づく点検状況、修繕事例について、青森市及び横浜町より報告がありました。

平成26年度から始まった定期点検も、今年度で5年目となり、すべての施設の点検が1巡する予定となっています。引き続き、道路インフラの長寿命化を図っていくために、各管理者が一体となって活動に取り組んでいきます。